



食道胃接合部癌に 対する腹腔鏡手術

食道胃接合部癌は接合部の上下2 cm以内に病変の中心を有する扁平上皮癌・腺癌で，切除術式とリンパ節郭清の選択に苦慮することが少なくない。鏡視鏡下手術では腹腔鏡および胸腔鏡アプローチの選択に関しても一定の見解が得られていない。本座談会では本誌編集委員の宇山一朗先生司会のもと，食道胃接合部癌の鏡視下手術における適応，切除範囲，郭清範囲，再建方法，ロボット手術などについて各施設の現状を交えてご討議いただいた。

〈司会〉

宇山一朗
Ichiro UYAMA



藤田保健衛生大学医学部
総合消化器外科学講座教授

寺島雅典
Masanori TERASHIMA



静岡県立静岡がんセンター
胃外科部長

瀧口修司
Shuji TAKIGUCHI



名古屋市立大学消化器外科教授

能城浩和
Hirokazu NOSHIRO



佐賀大学医学部
一般・消化器外科教授